

平成28年度 特別会計予算

まちには、一般会計のほか7つの特別会計、1つの企業会計があります。特別会計は、特定の事業や特定の収入で事業を行う場合に、一般会計と区別して設置します。

各会計ともにおおむね例年並みの予算ですが、国民健康保険事業特別会計は、社会保障制度改革によって、加入者が激減しているため、減額となっています。また、水道事業会計は、石綿管布設替え工事が予定されているため、増額となっています。

当初予算額 比較

区 分		平成28年度予算額	増 減 額	増 減 率
特別会計	学校給食事業	1億1,641万円	149万円	1.3%
	公共下水道事業	3億5,959万円	1,913万円	5.6%
	国民健康保険事業	23億4,068万円	▲7,394万円	▲3.1%
	農業集落排水事業	1億6,083万円	465万円	3.0%
	住宅新築資金等貸付事業	383万円	▲37万円	▲8.8%
	介護保険事業	13億7,389万円	1,570万円	1.2%
	後期高齢者医療事業	1億6,334万円	58万円	0.4%
企業会計	水道事業	6億6,253万円	5,946万円	9.9%

国民健康保険事業

反対討論

小池春雄 議員

低所得者が多く加入している国保会計への一般会計からの繰入金が増額を切に願ひ、反対です。

賛成討論

高山武尚 議員

昨年、国保税の引き下げを実施し、また一般会計からも2億2255万円の繰り入れで被保険者の負担の軽減を行っており、賛成です。

賛成14・反対1で可決

学校給食事業

反対討論

小池春雄 議員

平成28年度から、学校給食の民間委託が始まります。しかし、メリット、デメリットが明らかではありません。

また、町長の選挙公約である、給食費無料化へのさらなる取り組みが行われておらず、反対です。

賛成14・反対1で可決

20年後のまちの姿を展望

都市計画マスタープランは、20年後のまちの姿を展望したうえで、将来像を明確にし、その実現へ向けての大きな道筋を明らかにするものです。まちでは、平成13年に策定しましたが、状況が大きく変化したため、改定するものです。

反対討論

賛成討論

柴崎徳一郎 議員

岩崎信幸 議員

本案は、PDCAサイクルによる各業務プロセスの踏襲に不備・矛盾を感じます。また、前回プランとの整合性など納得できるプランとは言い難く、住民意見を反映し「見直し検討された」手順での策定を求め、反対します。

都市計画は、その目的の実現には、時間を要するものであるため、本来長期的な見通しをもって定められる必要があります。今回の改定は、20年後を見据えた計画であり、賛成です。

賛成11・反対4で可決



人権擁護委員候補者に石関さん

人権擁護委員に石関秀一さん（南下・60歳）を推薦する町長の諮問に対し、議会は全会一致で適任と認め答申しました。

人権擁護委員は、人権相談や人権思想の啓発活動などを行います。任期は3年です。全会一致で答申

陳情

	件名	申請者	結果
陳情	第1号 軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談の出来る窓口などの設置を求める陳情	軽度外傷性脳損傷仲間の会 代表 藤本 久美子	不採択

反対討論

平形 薫 議員

学校の教師などにポケットSCAT2を携帯させ、客観的に症状を観察させ、判断させることは、教育現場に過度の責任を負わせることとなり、反対です。

賛成討論

小池春雄 議員

武道が必修化され、まちでも柔道を取り入れています。事故が起きた場合の対応を心配している保護者もいます。教師にポケットSCAT2の携帯を義務づけることは必要であると考え、賛成です。

賛成1・反対14で不採択